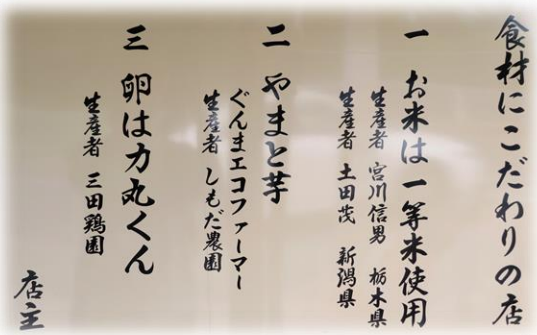
太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol.41
発行日
2021年7月12日

**みなさんは、日々の暮らしの中にご近所付き合いや気の合う仲間がいますか？
５年後、１０年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える、人と人との「つながりのある地域」をめざし、「地域のお宝」として、ご紹介していきます。**

取材先

◇毛里田地区「キッチン渡良瀬」

岩下幸江さん



新型コロナウィルスが流行している中、「私にも何かできることはないか」と令和2年9月にお店をオープンしました。日によっては売り切れじまいになるほどの人気店です。

お客さんを元気づけようと、安心安全でこだわりの新鮮な食材を仕入れ、提供しています。また、地域の方をはじめ、各方面からも協力してもらい、「本当にありがたいです」と感謝していました。

幸江さんは「お客さんと会話することで地域に早く馴染めるのではないか、溶け込めるんじゃないか」と思い、来店したお客さんと必ず会話することを心がけているそうです。お客さんの発する声を聞き、耳を傾けることを大事にし、「何気ない一言」を感じ取ることで自然な見守りにつながっているように感じました。

「先日、一人暮らしの高齢者にお料理をおすそ分けしたら後日、たくさんの新鮮なお野菜を持ってきてくれて」と持ちつ持たれつの関係をすでに築いています。

コロナが落ち着いたら「お店がひと段落する午後3時くらいに散歩がてら集まってきてもらい、おしゃべりやお茶飲みをゆっくり楽しんで欲しい」と話してくれました。

キッチン渡良瀬が新たな地域の居場所になりそうです！

チェックポイント

＊おすそ分けと何気ない会話、声かけをすることが自然な見守りになっている。

＊人と人のつながり「縁」を大事にし、「できる人ができる事をやればいい」の精神で！

地域のお宝発見　～太田市生活支援体制整備事業～

取材先　◇毛里田地区　こどもの食堂び～ば～

6月6日（日）、午前11時から5名のスタッフで構成されたキッチン渡良瀬による「こどもの食堂び～ば～」が開催となりました。
こども食堂は誰もが参加できるように「こどもの食堂」と名付けました。
「び～ば～」には環境を変えて生活する動物の「ビーバー」と「遊び場」「学び場」を掛けました。また、子供の貧困対策、子供と高齢者の「つなぐ場所」でもあり、色々な世代交流の場、地域交流の場にと考えました。
ゆくゆくは囲碁や将棋、書道など子供たちには高齢者からたくさんのことを学んでほしいとのことから「寺子屋みたいな存在になっていけたら」と思っています。
元気な高齢者には「仕事をすることで活き活きとしていて欲しい」、
人間関係でお悩みの子供たちには「何か仕事をすることで自分の居場所を見つけてほしい」との思いから「高齢者もお子さんも「こどもの食堂」のお手伝いをして社会との交流を深めてほしい」とお話しされていました。

♪スタッフの方々の「長く続けたいから自分たちのできる範囲でできることをやって喜んでもらおう」という姿がとても印象的でした。

お客さん第一号

開催日は月に一度、毎月第一日曜日。時間は午前11時から午後2時。<小人100円・大人400円>
どなたでも利用可能です。現在はコロナ禍なのでお弁当の配布のみとなっていますがコロナが落ちついたころには店内にて温かな食事と「遊び場・学び場」も実施する予定です。

企業からの協賛

エムエス化成㈱
「こどもの食堂を今度始める」とお話ししたところ、準備段階から「何かに役立てほしい」と協賛金を寄付していただいていて、「毎月の協賛金に大変感謝しています。」とのことでした。

子供たちが学校と親としか関わる機会がなく、閉じた世界だとその世界が全てだと思ってしまう。視野を広げるためにもいろいろなことに関わったり体験する機会が多いほうがいい！

チェックポイント

＊年齢問わず、10年以上に亘る信頼関係のある仲間で協力し、新しい活動が地域の輪を広げていく。
＊世代間交流が少なくなった今日この頃、「こどもの食堂」が「つなぐ場所」になり、地域の未来に繋がる。

詳しくはこちら

お宝情報を募集中！
「私の近所でこんな取り組みをしている」
「こんな工夫をして気にかけ合っている」など、
あなたの地域のつながりを教えてください。
情報をお持ちの方は下記お問合せまで！

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会　地域福祉係
〒373-0817　群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033　FAX 0276-30-0032